

日本結核病学会九州支部学会

—— 第67回総会演説抄録 ——

平成23年11月18・19日 於 エルガーラホール（福岡市）

（第67回日本呼吸器学会九州地方会と合同開催）

会 長 渡 辺 憲太朗（福岡大学医学部呼吸器内科学）

—— 一 般 演 題 ——

**1. リネゾリド含む多剤併用により菌陰性化した超多剤耐性結核の2例** °小江俊行・犬山正仁（NHO東佐賀病呼吸器内）

気管気管支結核+肺結核（*r* III 1, G9）の42歳女と肺結核（*r* III 1, G5）の32歳女の2例のXDR-TBにPZA, CAM, CS, LZD（600 mg/日）の4剤で治療を行い1週目には咳

嗽が軽快，1～2カ月目に培養も陰性化した。血液生化学には異常なかったが頭痛，不眠，焦燥感や羞明を訴えたため，LZD，CSは週2～3回の間歇投与に変更し6カ月で陰影も軽快，1例目は18カ月で，2例目は手足のしびれが出現14カ月で治療を終了した。